



かがやき



海田西小学校

通級指導教室だより No.14

令和5年10月18日(水)

通級では、例えばこんな支援をしています！（一例を紹介）

カッとなりやすい、暴言・暴力が出やすい子



・基本は、未然防止！

→どんな時にイライラしやすいか、その時どうなるか等を整理し、自分の特性を知る。
事前に、爆発しそうなになったらどうするか、クールダウンの方法を、決めておく。
爆発せずに、カッとなる気持ちをおさえられた時は、すぐに褒める。

・失敗やトラブルに対して、「なぜ～？」「どうして～？」と聞かない。

→いったん気持ちを受け止める。
落ち着いてから、適切な言動を教える。

それは、悔しかったよね。

・主語を「あなた」ではなく、「私」にする。

→「私は、〇〇な気持ちになったよ。」
「私は、こうしてくれたら嬉しいな。」など、
自分側の気持ちを伝える。
（「あなたは～」は、相手のイライラを増加させることも。）



・あれもこれも叱らない。

→気になることが複数あっても、優先順位をつけて1つに絞る。
（「危険なこと」「他者の迷惑になること」）
人格や性格は否定せず、不適切な行動のみを指摘する。
簡潔に、短い言葉で。理由を分かりやすく伝える。

良いところを見つけて、
たくさん褒めてあげま
しょう。
自己肯定感アップは、情
緒の安定に繋がります。

・不適切な言動はスルーする。

→注意をひきたくてわざとやっている行動には、反応しない。（危険な行動はすぐに止める！）
良い言動の時に反応し、しっかり褒める。



・絵カードを活用する。

→約束したことを絵カードにしておき、意識づける。

言われていることが分からない，うまく聞き取れない子

- ・ **目線を合わせて，ゆっくり話す。**

→子どもの動きを止めて，正面から話す。

- ・ **一つずつ伝える。**

→理解できたら，次のことを伝える。

- ・ **短い言葉で伝える。**

→ワンセンテンスをできるだけ短くする。
後付けは，しない。

- ・ **「あれ」「それ」 / 「しっかり」「ちゃんと」は，使わない。**

→子どもが具体的にイメージできる言葉を使う。

(例)

- × 「それ，ちゃんと片付けて。」
- 「プリントは，緑のかごの中に入れてみましょう。」

- × 「ていねいに書きましょう。」
- 「枠からはみ出ないように書きましょう。」

- ・ **初めに結論を伝える。**

→何をすればよいのか，イメージが持てるように，ゴールを示す。

- ・ **視覚支援をする。**

→箇条書き・絵やイラスト・身振り手振り等，その子が理解しやすいものを用意する。



今から大事なことを
3つ言うよ。
一つ目は・・・

一番困っているのは，子ども自身。
周りの大人は，子どもの視点に立って，
困らないように支援したり，
解決方法を示したりできるといいですね。

